

**新製品** またまた新ジャンル? ネットノート!

今年のパソコン業界の大きな話題といえば、Windows 7の発売と、ミニノート(ネットブック)パソコンの台頭でしょう。ネットブックはパソコンの1ジャンルとしてすっかり定着しました。用途を思い切って限定することで必要最小限の性能、本体サイズ、そして価格もグッと抑えたネットブック。当初は7~9インチと小さかった液晶モニターも、最近では10~12インチが採用され、実用性も向上してきました。

しかし、そんな中、また新たなジャンル「ネットノート」が登場しました!

「ネットノート」とは?

「ネットノート」とは一般的なノートパソコンより小さく軽く、「ネットブック」より大きいサイズで、超低電圧版(CULV=Consumer Ultra Low Voltage)CPUを搭載したノート型パソコンのことを言います。メーカーによっては「ライトブック」や「モバイル・サブノート」と呼称されます。

ネットブックは主にCPUにATOMを搭載し、OSはWindows XPやWindows 7 Starterを搭載するのに対し、ネットノートは、超低電圧版ではありませんが、CPUにCeleron等を搭載し、OSはWindows 7 Home Premiumを搭載するなど、スペックの違いを感じます。また、バッテリー駆動時間、メモリ容量などの面でもネットブックよりはるかに高性能なスペックとなっています。

価格はネットブックが3~6万円なのに対し、ネットノートは6~10万円となっていて、価格の面でもネットブックより1ランク上となっています。

既存のモバイルノートは高価すぎるし、ネットブックでは物足りないという方にはちょうどよい製品と言えます。

■トピック

株式会社 工人舎からモニターを2台搭載したノートパソコンが発売されます。モニターはスライド収納することが可能で、持ち運びにも不便はしません。しかも価格は79,800円から! アイデアも価格も驚きですね!

**ネットワーク** より速く! 無線LAN

今年9月、無線LANの新規格IEEE802.11nが正式に策定されました。この新規格「11n」は、これまでの無線LANの伝送速度54MB(理論値)をはるかに超える600MB(理論値)の伝送速度を誇り、高速で安定した無線通信を実現します(日本では電波法の関係上、最大理論値300MB)。あくまで理論値ですので、実際の伝送速度は遅くなってしまうかもしれませんが、それでも今までよりもはるかに高速な通信を実現します。

**無線LANは難しい?**

無線LANは設定が難しいというイメージがあります。「説明書通りに設定したのにつながらない」、「電波届いているのかな?」、「セキュリティは大丈夫?」など、電波が目に見えないだけに何がどうなっているのか分からないことも多いかと思えます。

バッファロー社製の無線LAN装置は“AOS S”と呼ばれる仕組みを導入し、無線LANを簡単に設定できるようにになっています。

このAOS Sの機能を使うと、自動的にネットワーク接続の設定と最適なセキュリティの設定を行ってくれます。最近では端末の片方がバッファロー社製以外の無線端末であってもAOS Sの仕組みを利用することができるようになったようです。操作方法はとても簡単で、接続したい無線端末同士で同時にAOS Sボタンを押すだけです。

同じような仕組みとしては、NEC製品の「らくらく無線スタート」というものがあります。

また、電波の強度が弱い場合は、通信速度が上がらないばかりか、通信そのものが途切れ途切れになってしまいます。そのような時は、無線LANの親機の設置場所や向きを変えたり、中継アンテナを設置したりすると改善することがあります。

無線LANにしてみたいけど、やっぱり難しそう、という方は、ぜひ一度、エーアイティ研究所までご相談ください!



バッファロー社
WZR-HP-G300NH

編集後記 今年も残すところあと1ヶ月となりました。皆様はどのような1年だったでしょうか。私は、趣味の音楽を通じてたくさんの人と出会い、いろんな経験をした1年でした。仕事でもたくさんのお客様と出会えた1年でした。景気の先行きが不透明な時代ですが、人とのつながりを大切に、お互いが切磋琢磨していける関係を築けるように、来年も自分を磨き、高めて行きたいと思えます。来年もエーアイティ研究所をよろしくお祈りします!(本田)